

量子コンピュータの現在地と 未来に向けた躍躍

量子技術が研究から社会実装へと確かな歩みを進める今、2026年は量子コンピュータ産業化にむけ、さらなる展開が期待されています。本イベントでは、2025年の量子工学や産業動向を総括しながら、2026年の実装フェーズに向けて「鍵」となる技術、ユースケース、人材、産官学連携の視点から議論を深めます。

2026.2.25 WED

14:00-16:30 (開場13:30-)

INDEST



参加無料・要登録
Peatix



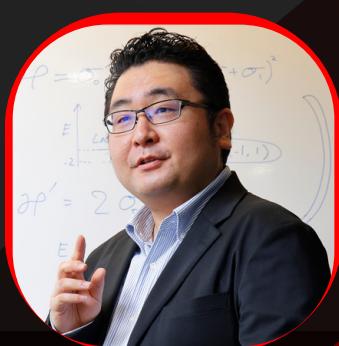
ハイブリッド開催



ネットワーキング
会場参加のみ 15:45-

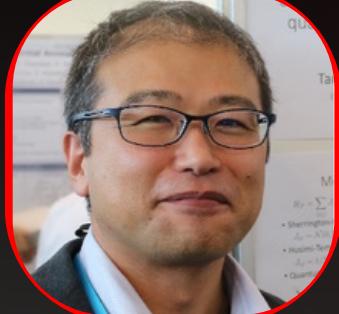


主催 東京科学大学
イノベーションデザイン機構 INDEST
共催 株式会社Jij
協力：国立研究開発法人産業技術総合研究所
量子・AI融合技術ビジネス開発グローバル研究センター（G-QuAT）
(一社) 量子技術による新産業創出協議会
後援：港区立産業振興センター



益一哉 氏
G-QuAT センター長

田中 宗 氏
慶應義塾大学 教授



山城 悠 氏
株式会社Jij CEO

門脇 正史 氏
G-QuAT/株式会社デンソー



産総研



G-QuAT

Institute of
SCIENCE TOKYO
Center for Innovation Design



Q-STAR

<https://www.idp.ori.titech.ac.jp/>
venture@cim.isct.ac.jp

東京都港区芝浦3丁目3-6
東京科学大学田町キャンパスINDEST4F

